

占領期に京都府内で発行された雑誌資料を蒐集した

フランゲ文庫(マイクロフィッシュ 401タイトル)

戦後まもない社会状況などを記録した映像資料

終戦直後・占領下の映像記録(ビデオ132巻)

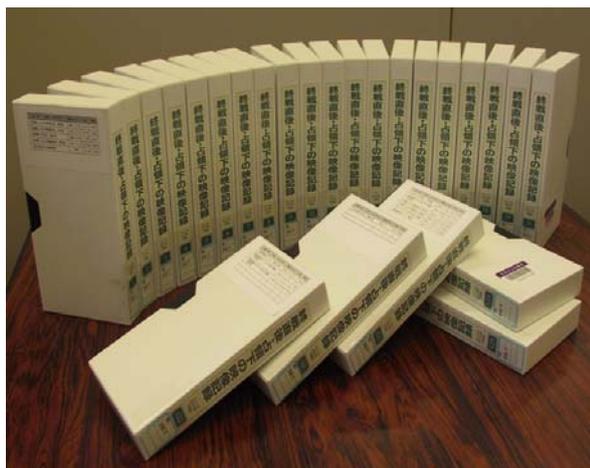
京都府立図書館では、終戦直後の社会状況などの映像資料等を所蔵しています。調査・研究のための資料として、また、当時の社会状況を知るための参考など、様々な用途にあわせてご活用ください。

「フランゲ文庫」

戦後まもなく連合軍総司令部が検閲のために蒐集した雑誌・出版物等をマイクロフィッシュ(シート状のマイクロフィルム)で整理保存されたものです。

その収集は同人誌から一般刊行物まで広範にわたっています。

府立図書館では、そのうち京都府内で発行された資料401タイトルを所蔵しています。



「終戦直後・占領下の映像記録」

降伏文書調印式及び極東国際軍事裁判をはじめとする、日本各地の社会状況を映像記録したビデオテープです。全132巻。

京都に関するものは、舞鶴港での旧ソ連からの復員・引き揚げの様子や、原爆研究の嫌疑から米軍の手で破壊された京都大学サイクロトロンの様子などが収められています。

京都関係の映像資料は、別紙一覧表をご参照ください。

終戦直後・占領下の映像記録コンテンツリスト(京都関係・抄)

巻号	解題	撮影年月日	撮影場所	開始時間	収録時間	備考
第4巻	ソ連抑留者帰国	1949.7.20	舞鶴	23:00	6分27秒	音声なし・モノクロ
第5巻	アイゼンハワー来日	1946.5.14	京都府	16:30	3分35秒	音声なし・モノクロ
第7巻	ソ連抑留者帰国	1949.7.23～26 1950.1.22	舞鶴・京都駅	00:00	31分36秒	音声なし・モノクロ
第13巻	非戦災都市点描	1946.2	舞鶴・京都	24:55	11分54秒	音声なし・カラー
	農村の風景	1946.2	京都府	37:12	10分51秒	音声なし・カラー
第16巻	京都点描	1946	京都市	48:38	5分29秒	音声なし・カラー
第24巻	鉄道の復旧状況	1946.5	舞鶴・京都	18:15	10分27秒	音声なし・カラー
第25巻	米軍憲兵の活動	1946.3.23	京都府	47:16	4分2秒	音声なし・カラー
第26巻	京都点描	1945.12	京都府	08:09	11分24秒	音声なし・カラー
第37巻	ソ連抑留者帰国	1949.7.19	舞鶴	41:10	6分50秒	音声なし・モノクロ
第39巻	ソ連抑留者帰国	1950.1.20	舞鶴	45:12	10分35秒	音声なし・カラー
第40巻	ソ連抑留者帰国	1950.1.23	舞鶴	19:45	2分18秒	音声なし・カラー
	ソ連抑留者帰国	1950.1.22	舞鶴	23:09	10分12秒	音声なし・カラー
第51巻	サイクロロン破壊	1945.11.24	京都大学	42:36	6分26秒	音声なし・モノクロ
第54巻	カラ一点描・46年の日本	1946	京都府	48:53	11分4秒	音声なし・カラー
第55巻	カラ一点描・京都の生活	1946.5.21～31	京都市	23:01	21分30秒	音声なし・カラー
第56巻	地方巡業の大相撲	1946.2.18	京都府	20:38	5分36秒	音声なし・カラー
第59巻	サイクロロン破壊	1945.11.24	京都大学	46:50	6分21秒	音声なし・モノクロ
第88巻	京都の工芸品	1946.5.18	京都府	21:33	9分57秒	音声なし・カラー
	京都盆地	1946.5.18	京都府	31:33	16分11秒	音声なし・カラー
	京都点描	1946.5.28	京都府	47:46	8分37秒	音声なし・カラー
第89巻	京都の美術・工芸	1946.5.25～28	京都府	13:09	23分55秒	音声なし・カラー
	京都の美術・工芸	1946.5.21～22	京都府	43:52	13分54秒	音声なし・カラー
第91巻	医学研究	1946.5.22～24	京都市	00:00	13分1秒	音声なし・モノクロ
第92巻	気象観測	1945.10.24	京都大学	41:42	2分7秒	音声なし・モノクロ
第102巻	米陸軍長官・関西視察	1949.2.5～6	京都府	10:27	8分15秒	音声なし・モノクロ
第129巻	ソ連抑留者帰国	1949.7.19	舞鶴	30:52	3分39秒	音声なし・モノクロ

※ 「終戦直後・占領下の映像記録」とは

米国国立公文書館所蔵の膨大なフィルムの中から、日本が連合国軍総司令部(GHQ/SCAP)占領下だった時期を収載した映像記録です。

撮影者はすべて 連合国軍総司令部(GHQ/SCAP)通信隊です。1945年8月30日～1946年初頭にかけて米国戦略爆撃調査団として、陸軍戦略総司令部(グアム島)第20航空軍が日本の空爆被害状況を撮影しています。

それ以外の撮影は地域別に管轄する軍が撮影したものです。映像カット総数は、全132巻で951件に達します。

ここでは、その中から、京都に関する映像を抽出して紹介します。